

教育委員会だより

第2号
2016.2.1



私たちの大切な宝である子どもたちが、夢や希望を持ち、持続可能な社会の担い手となるよう、教育委員会や各学校はさまざまな取り組みを行っています。その「今」を紹介していきます。

本市の教育と子どもたちに寄せる思いを、4人の教育委員の皆さんにリレー形式で語っていただきます。1回目の今回は、山本和夫委員です。



皆さまこんにちは。教育委員の山本です。
私たち教育委員は、子どもたちや先生方の現状を理解するた

めに学校訪問や各種発表会、スポーツ大会等に出席するようにしています。

中でも一番重要視しているのが学校訪問です。校門を入り子どもたちと会うと、どの学校でも「こんにちは」と元氣よく挨拶をしてくれます。また、昼休みに子どもたちが運動場で走り回って遊んでいる姿を見ると私の心も弾み、このまま事件や事故に遭わずに健やかに育って欲しいと願わずにはいられません。そして授業参観をして、先生方と大牟田の教育について意見交換をしています。

私たち教育委員は、学校や保護者の方、市民の皆さまから情報を得ながら、より良い教育環境を作りたいと思います。皆さまのご協力をお願いいたします。

世界遺産学習全国サミット in おおむた

昨年10月24日の「世界遺産学習全国サミット in おおむた」には世界遺産学習に取り組んでいる各地域の教育委員会や市内の学校のPTAなど約六百人の参加がありました。

みなと小学校児童による「大牟田弁もおもしろか」の合唱で幕を開け、駛馬北小学校、島根県大田市立大森小学校、奈良県奈良市立飛鳥小学校の児童による発表、本市出身で、ハーバード大学（アメリカ）でも教壇に立ち、現在はケンブリッジ大学（イギリス）で研究中の北川智子さんによる記念講演や、全国の学校・教育委員会の特色ある取り組みの発表と交流を行いました。

発表を終えて

駛馬北小学校 六年 橋本 桃佳
緒方 日菜
世界遺産学習全国サミットの日まで何回も練習しました。当日は大勢の方がいらつしやって、すごく緊張しました。伝えたいことがきちんと伝わるか、とても心配でしたが、発表が終わるとたくさんの方が拍手してくださり、「とてもよかったよ」とほめてくださいました。私たちのボランティアガイドの活動がきちんと伝わったと分かって、ほっとしました。いつも頑張っていることを伝えられてよかったし、大勢の人の前で発表したことはよい経験になり、自信ができました。

全国サミットの成果

今回、初めて奈良市を離れ、大牟田市での開催となった本サミットでは、全国から多くの参加者を迎え、各地の特色ある取り組みの交流を行うことができました。また、地域に世界遺産がなくても、地域の歴史・伝統・文化や人々の営みなどを取り上げることが世界遺産学習の一つであることを再確認することができました。（指導室）



児童生徒の英語力・ コミュニケーション能力の向上のために

● 小学校英語活動・外国語活動

現行の学習指導要領で、小学校高学年での外国語活動が全面実施されたのは平成23年度からですが、本市では、その10年以上前から、全国に先駆けて全ての市立小学校で英語活動に取り組んできています。

各市立小学校では、次の①～③の基本的な考え方の下で、「話す」・「聞く」を中心として英語活動・外国語活動を進めています。

①遊びやゲームなどの体験的な活動、交流活動などを通して、英語に「慣れる」・「親しむ」・「楽しむ」活動を行う。

②国際理解教育の一環として行うもので、中学校の外国語教育（英語）の前倒しにならないように配慮する。また、小・中学校9力年の見通しの上に立って指導を行う。

③各学校の実態に応じた学習計画の下で、各学校で工夫しながら行う。

また、ALT（外国語指導助手）やLGT（外国人講師）も活用していますが、学級担任を中心に学習を進めていることも本市の特色の一つです。

英語活動の成果について

普段の授業では消極的だった児童が英語活動では積極的に手を挙げて発言するようになったり、男子と女子の間でも英語を使って積極的にコミュニケーションするようになりました。その良い雰囲気は、英語活動以外の授業や普段の生活にも広がり、学級全体の雰囲気がとても良くなりました。

（銀水小学校 宮田久美子教諭）

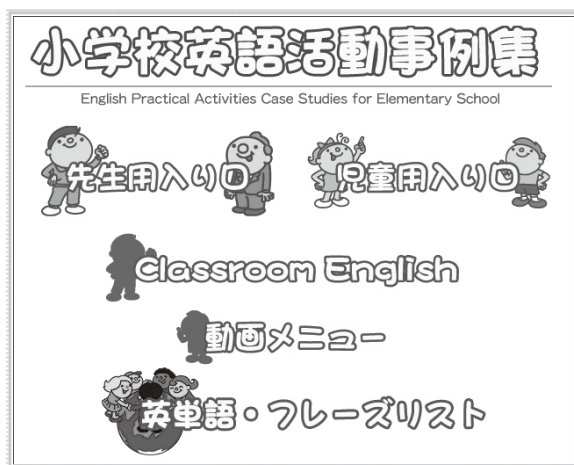
英語を使ってコミュニケーションを楽しみました



● 本市独自の 英語活動支援システム

各学校の英語活動を支援するため、本市教育委員会が独自に開発したシステムである「小学校英語活動事例集」をインターネット上で一般に公開しています。このシステムにALTによる英単語や英会話などの動画や音声を収録して、各小学校で自由に活用できるようにしています。

また、これ以外にも、さまざまなデジタル教材が活用されています。



小学校英語活動事例集

<http://www.e-net21.city.>

omuta.fukuoka.jp/english/

● これからの英語教育に向けて

文部科学省では、25年の「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」、26年の「生徒の英語力向上推進プラン」などの取り組みのほか、小学校での「英語の教科化」などを含む次期学習指導要領改訂に向けた作業が行われています。この作業の中では、小学校においても、「話す」・「聞く」に加えて、「読む」・「書く」を含めた能力を育成することについて検討されています。

本市では、これまで取り組んできた英語活動・英語教育の成果を踏まえながら、次期学習指導要領改訂を見据え、小学校や中学校の児童生徒の発達段階に応じた英語力・コミュニケーション能力の向上に努めていきます。

学習指導要領とは…

全国的に一定の教育水準を確保するなどの観点から、国が各教科等の目標や内容を定めているものです。

■ 問合せ

教育委員会事務局 総務課

（☎ 412860）